



「のび太」の自立と「ドラえもん」

「のび太くん」はご存じでしょう。そう「ドラえもん」に出てくるあの「のび太くん」です。のび太のイメージはドラえもんがないと何もできないということでしょう。成績が悪く、運動もだめ、先生や母親に叱られる、友だちからはいじめられてばかりののび太くんです。しかし、ドラえもんの秘密道具が彼を助けてばかりいると思いませんか。実は、想像以上に人生を上手に歩んでいるのです。夢に向かって自立していくのび太くんなのです。

少年時代は、ジャイアンに殴られても向かっていき最後は勝っていくのび太の姿、ドラえもんが壊れると自力で秘密の道具を駆使して直すのび太の姿。また、10年間一人無人島で生活したのび太の姿。そして、夢が叶ってしずかさんと結婚し、息子をもうけてりっぱに自立した人生を歩んでいるのです。

ドラえもんの「育て力」●目次

ドラえもんは、なぜ「負け組」のび太を「勝ち組」にできたのか？

1章 ドラえもんの「ほめる力」

— どんな言葉や行動が、相手をのばすのか？

● コーチングとは「与えること」ではなく「引き出すこと」

1 とことんほめて“やる気”にさせる・・・モチベーションがないと、何事も始まらない

2 “得意技”を見つけてあげる・・・長所を発見することで、成長力は加速する

3 “結果”より“過程”を大切に・・・失敗したとしても、こんなときはほめるべきだ！

2章 ドラえもんの「叱る力」

— “厳しさ”とは“愛情”があるからこそ成り立つもの

● 「ほめる力」はアクセル、「叱る力」はブレーキと同じ

3章 ドラえもんの「気づかせる力」

— 相手に問題を見つけさせ、解決させるには？

● 「気づき」とは、自己実現を果たすために不可欠な要素

2 相手に徹底的に考えさせろ・・・ドラえもんに学ぶ「質問力」の使い方

3 “間違っていること”は自分でわかってこそ意味がある・・・なぜドラえもんは、こんなひみつ道具を貸したのか？

4章 ドラえもんの「行動させる力」

— 何ごとも、自ら行動しなければ身につかない

1 リスクを恐れるな！・・・冒険する勇気を、どうやって相手に与えられるか？

2 思いっきり感動させる・・・本当の幸せは、こんな経験が実感させるもの

3 時にはへこませる・・・失敗しないと学べない“大切なこと”もある

5章 ドラえもんの「学ばせる力」

— だからこそ、のび太は“愛される人”になった

● 優れたコーチングは、夢を本人の力で実現させる

1 一度、突き放す！・・・相手が自分でアクションを起こすまでは、じっと待つ

2 自ら間違いを認める・・・リーダーも完璧ではないことを理解しておく



そこで、そんなのび太の自立とドラえもんについて書いておられる富山大学名誉教授横山泰行氏の言葉を借りながら、「自立について」考えてみました。所詮はマンガだと思われている方もおられるでしょうが・・・。（ドラえもん好きの私だから？）

これは、『「ドラえもんの「育て力」』という本の目次の項目です。ドラえもんがのび太の自立のために取ってきた言動が目次の項目で

表されています。前号でお伝えしたチェックポイントに関連していると思いませんか。ここに「のび太」の自立していく姿を見ることができるようになりました。目次の中で、7つの自立のチェックポイントに結びつくようなものを取り出してみました。

【裏面あり】

- ①「ほめること」：ほめる力：〇とことんほめてやる気にさせる、モチベーションがないと、何事も始まらない。 〇得意技をみつけてあげる、長所を発見することで成長力は加速する。 〇結果より過程を大切にす、失敗したとしても、こんなときはほめるべきだ。
- ②「自然に身を任せること」：叱る力：〇厳しさとは愛情があるからこそ成り立つもの。 〇ほめる力はアクセル、叱る力はブレーキと同じ。
- ③「甘えさせること・意欲を尊重すること」：気づかせる力：〇気づきとは自己実現を果たすために不可欠な要素。 〇まず疑問を持つことが大事、興味を持つことから、大きな一歩が始まっていく。 〇相手に徹底的に考えさせろ。 〇間違っていることは自分でわかってこそ意味がある。
- ④「失敗や危険な経験をさせること」：行動させる力：〇何ごとも、自ら行動しなければ身につかない。 〇リスクを恐れるな、冒険する勇気をどうやって相手にあたえられるか？ 〇思いっきり感動させる、本当の幸せはこんな経験が実感させるもの。 〇時にはヘコませる、失敗しないと学べない大切なこともある。
- ⑤「見守ること」・「親が自立すること」：学ばせる力：〇優れたコーチングは、夢を本人の力で実現させる。 〇一度突き放す、相手を本人の力で実現させる。 〇自ら間違いを認める、リーダーも完璧ではないことを理解しておく。



前号で大切にしてほしいと述べたことは、「のび太」がドラえもんから育てられたことと一致していると思いませんか。漫画「ドラえもん」は、子育てにも共通する要素をたくさん含んでいるのです。ぜひ子育ての参考にしてください。

子どもの自立チェックシート診断表

※前月号：No.9「子どもの自立①」でのチェックシートの診断内容です。参考にしてください。

点 数	内 容
7～11	子どもとの信頼関係が1番です。いくつになっても子どもが甘えてくるうちは、いくらでも甘えさせたらいいのです。“甘やかす”のではなく、“甘えさせる”のです。この段階がないと次に進めません。
12～17	子どもの自立は早い方がいいと考えがちですが、それは間違いです。各段階をクリアしなくては自立には向かいません。“人と比べる”のではなく、“本人の頑張りや進歩”を評価してあげることです。
18～24	「子どもがちょっと出来ない」と直ぐに手を出す、「少しでも困っていると早々に手助けをしてしまう」、そこは我慢です。我が子の自立をハラハラしながら見守りましょう。“見張る”のではなく“見守る”のです。
25～28	目先の結果に左右されず長期的に、子ども自身で考えさせ、決定させることです。親自身が、軸を持ちながら人生を楽しんでください。“目を離さない”のではなく“心を離さない”ことです。

子 育 て 名 言 (ドラえもんのセリフから)

のび太！ ぼくもきみのことちゃんと見てるから！！ しっかりがんばれ！
 きみだってやればできるんだから！！ 朝もちゃんと起きられるし、宿題もできるし、
 ケンカも負けない、 ママの言うことも聞いて、そんなふうになれるんだ……。